

「国際ビーチクリーンアップ in 須磨」報告

毎年恒例となりました関西支部の社会貢献活動を9月25日（日）に開催しました。暑かった今年の夏の締めくくりに須磨海岸を清掃する企画です。当日は晴天に恵まれ、涼しく、秋を感じさせる気候となり、絶好の清掃日和でした。

この活動は海岸のゴミを集め、種類を分析することで、国や自治体が行っているゴミを減らす取り組みの効果の検証や、漂着ゴミのデータから国際的なゴミ排出の状況を把握することなどに利用されます。昨年に引き続き、今年も他団体による海岸清掃の後だったので、目立つ様な大きいゴミはあまり見られなかったのですが、タバコの吸殻、飲み物の蓋、花火等が多く見られました。今回初めて参加しましたが、海岸清掃を通していかに海岸で楽しんだ後の片付けが出来ていないかが判り、反省させられました。



清掃活動後の集合写真

このイベントは、毎年、非営利団体であるクリーンアップ関西事務局が、JEAN（Japan Environmental Action Network）と連携して、国際海岸クリーンアップの一環として実施しているもので、参加者は昨年よりも増加し、今回は690名にも上りました。

個人のみならず団体からも多く参加し、我々も日本船舶海洋工学会関西支部として20名が参加しました。参加者の皆様には、支部の特製タオルをお渡ししました。なかなか個人ではこのような社会貢献活動に参加するのは敷居が高いのですが、学会メンバーとして組織的に参加するのではあれば、その敷居も低く感じるのでは、来年もこの活動への参加を期待します。

（記 会務委員 有村翼）



平成23年度版関西支部特製タオル